

愛されることには失敗したけれど、愛することならできるともかもしれない。
そう、きっと素敵な泡になれるでしょう。

—寺山修司『人魚姫』より

UTCP L2×L3合同企画

哲学ドラマワークショップ

愛すること 愛されること：「恋愛」の当事者研究

～演劇という「空想」を通して「恋愛」を哲学する～

当事者研究とは、自分たちの苦勞のメカニズムを自分たちで解明し、自分助けの方法を探求していく実践です。これは、「自分」を「哲学」することに通じます。

このワークショップでは、演劇という空想を通して当事者研究—哲学—するワークを行います。後半、当事者研究や国内外で演劇実践を行っているパネリストと参加者の皆様に、ワークを踏まえた哲学対話を行います。

テーマは恋愛。

愛するとは、愛されるとはなにか。

自分とは違う存在、身体、世界を生きる他者であるあなたに、なぜ私は近づきたいと願うのか。

誰もが一度は当事者になったであろう恋愛について、寺山修司版『人魚姫』という物語の中で、一緒に楽しく考えていきたいと思います。

企画：松山(福士)侑生

(つくば国際大学、こまば当事者研究会、P4E研究会)

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属

共生のための国際哲学研究センター(UTCP)

上廣共生哲学寄付研究部門

L2「共生のための障害の哲学」

L3「Philosophy for Everyone ～哲学をすべての人に～」

2014/10/13(月・祝) 13:00～18:00

第1部 哲学ドラマワークショップ

13:00～15:30 [定員]30名程度

東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE 101

オーガナイザー 梶谷真司 L3「Philosophy for Everyone」

〈構成・出演〉

松山(福士)侑生 つくば国際大学

大谷賢治郎 国際児童青少年演劇協会理事

土井真波 劇団銅鑼

第2部 フォーラムダイアログ

16:00～18:00

東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE 303

オーガナイザー 石原孝二 L2「共生のための障害の哲学」

〈パネリスト〉

当事者の立場から 水谷みつる こまば当事者研究会

演劇実践家の立場から 花崎攝 企業組合演劇デザインギルド

支援者の立場から 向谷地生良 北海道医療大学

研究者の立場から 石原孝二 UTCP

出演者の立場から 松山侑生、大谷賢治郎、土井真波

使用言語：日本語 | 入場無料 | 要事前登録 | 対象：12歳以上

* 詳しくは裏面をお読み下さい